

第7期鹿追町総合計画

概要版

鹿追町では、まちづくり全体に関わる「総合計画」を策定し、まちづくりを計画的に進めています。

この計画は、国の法律で策定が義務づけられていましたが、法律の改正で義務がなくなりました。しかしながら、多くの自治体は計画策定を継続しており、本町においても、第7期目にあたる新たな総合計画を策定しました。

策定にあたっては、小学校5年生以上を対象としたアンケート調査、町民のみなさんとのワークショップなどで頂いた声をできるだけ取り入れました。

※ここには計画の概要を掲載しています。計画は、町のホームページから見るができます。



表紙をはじめ、絵やイラストは神田絵里子さんの作品です。

1968年鹿追町生まれ。高校時代から油絵を始める。帯広市のおびしんふれあいギャラリー、札幌市琴似のカフェ北都館ギャラリーなどで個展を開催。鹿追町在住。父はNHK連続テレビ小説「なつぞら」の山田天陽のモチーフとなった画家・神田日勝。

この計画は「基本構想」「基本計画」「実施計画」の3つで構成されています。

基本構想

鹿追町まちづくり基本条例第31条の規定に基づき、鹿追町がめざす、まちづくりの将来像や方向などを示しています。

計画期間は2020(令和2)年度から2027(令和9)年度までの8年間とします。

基本計画

めざす将来像を実現・達成するための取り組み(施策)を、分野ごとに示しています。

基本構想と同じく、2020(令和2)年度から2027(令和9)年度までの計画ですが、前期・後期で区分し、前期が終了した後、後期分を見直すこととします。

また前期4年間で特に戦略的に進める実効性の高い施策を「重点プロジェクト」として位置づけます。

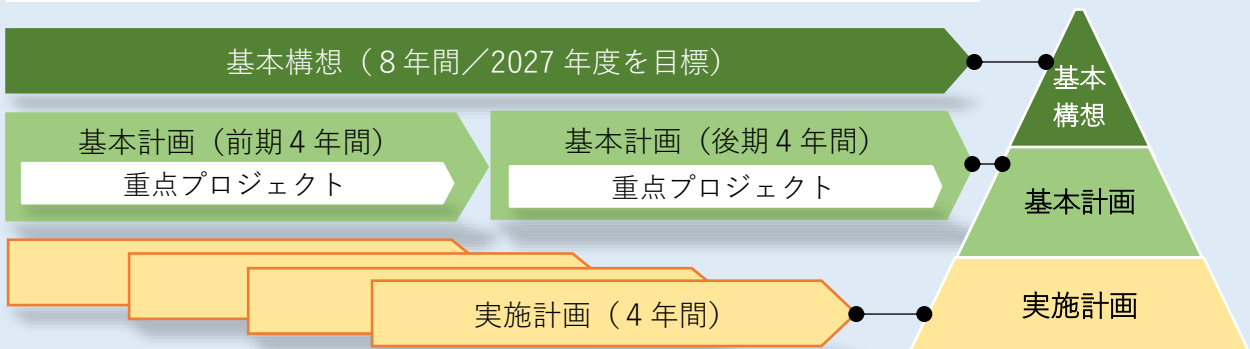
実施計画

基本計画で体系化した施策を進める事業を示しています。

計画期間は4年間で、毎年、内容を見直しながら、より良い方法で事業を進めます。

(年度)

2020 (令和2)	2021 (令和3)	2022 (令和4)	2023 (令和5)	2024 (令和6)	2025 (令和7)	2026 (令和8)	2027 (令和9)
---------------	---------------	---------------	---------------	---------------	---------------	---------------	---------------



将来像は

愛・夢・笑顔 あふれる未来へ ～支え合うまち♥しかおい～

アンケート結果の内容をもとに、鹿追高校生など延べ200名以上の参加をいただいた「まちづくりワークショップ」から提案された内容をもとに、将来像を設定しました。

「みんなが夢を持ち、元気に笑顔で過ごせるまちであってほしい」

「他者を思いやり、いたわる気持ちを大切にしたい」

「みんなが生き生きと暮らし、支え合える、次の100年を築いていきたい」

などの願いが込められています。

また、老若男女を問わず“愛情を持って支え合う”という気持ちを「♥」で示しました。

本計画を進めていく8年間、この将来像として掲げ、さらなる協働のまちづくりを進めます。

5つのめざす方向

めざす方向1 子育てを支え合い、多世代が つながり、心がふれあう 福祉をめざして	<ul style="list-style-type: none">○年齢、障がいの有無、家族形態などに関わらず、誰もが健康に過ごせる取り組みを進めます。○「子どもは地域の宝」であることを共有し、子どもを生み育てやすい環境づくりと切れ目ない支援を実践します。○「支え手側」「受け手側」で分けず、誰もが役割を持ち、助け合い、心がふれあう福祉をめざします。
めざす方向2 お互いの価値観を認め合い、 確かな自分づくりを育む 教育をめざして	<ul style="list-style-type: none">○「自己肯定感を高める教育」「他者との違いを認め価値観の相違を理解する教育」「課題解決能力を高める教育」を柱とした学校教育をめざします。○「いつでも、どこでも、なんでも」学べる環境を整え、学んだことをまちづくりに生かされる仕組みや「子ども」「大人」「高齢者」といった生涯各期で課題に対応した社会教育を進めます。
めざす方向3 「ひと・もの・こと」が つながり、豊かで魅力的な 産業をめざして	<ul style="list-style-type: none">○既存産業、資源、人材やサービスがつながり新たなビジネスや雇用が増える、豊かで魅力的な産業をめざします。○農業基盤の整備、情報通信技術を活用したスマート農業や家畜伝染病予防対策などを強化します。○観光では、新たな価値である「ジオパーク」を核としながら、積極的な情報発信などを実施し、町内の経済循環を促す仕組みづくりに努めます。
めざす方向4 地域がつながり、環境を守 り、安心して暮らせる まちをめざして	<ul style="list-style-type: none">○自然災害、交通事故や犯罪などから町民の命や財産を守る対策、安心して生活できる基盤づくりを進めます。○再生可能エネルギーの有効活用など環境に配慮したまちづくりを進めます。○交通網や情報通信基盤など、日常生活や地域経済の活性化に欠かせない基盤づくりを促進します。
めざす方向5 共に考え、共に創る まちをめざして	<ul style="list-style-type: none">○相互の顔が見え、理解し合える、小さな町だからこそそのコミュニティ、地域がつながり「自助、共助、公助」を実践するまちをめざします。○多様な交流、瓜幕地域の特性を活かした振興、移住・定住対策、自衛隊との連携、人口減少対策などを進めます。○「鹿追町まちづくり基本条例」に基づき、情報を町民と共有し、あらゆる機会に町民の参加を促し、互いに知恵と力を出し合いながらまちづくりを進めます。

第1章

子育てを支え合い、
多世代がつながり、
心がふれあう福祉をめざして

- 1 健康づくり
- 2 医療
- 3 医療保険、介護保険
- 4 子育て支援
- 5 障がい者福祉
- 6 高齢者福祉
- 7 地域福祉

第2章

お互いの価値観を認め合い、
確かな自分づくりを育む
教育をめざして

- 1 学校教育
- 2 家庭教育
- 3 学習活動（少年・青年・成人・高齢者）
- 4 学習活動（公民館分館）
- 5 芸術文化
- 6 芸術文化（神田日勝記念美術館・文化財）
- 7 スポーツ
- 8 図書館、読書

第3章

「ひと・もの・こと」がつながり、
豊かで魅力的な
産業をめざして

- 1 農業（経営・基盤整備）
- 2 農業（安心・安全な農業）
- 3 農業（持続可能な農業）
- 4 林業
- 5 商工業
- 6 水産業
- 7 観光
- 8 ジオパーク

第4章

地域がつながり、環境を守り、
安心して暮らせるまち
をめざして

- 1 エネルギー
- 2 土地利用
- 3 花、公園
- 4 環境美化、公害、畜犬
- 5 ごみ処理、リサイクル
- 6 墓地、葬斎場
- 7 住宅
- 8 水道、下水道
- 9 防災
- 10 交通安全、防犯
- 11 消防、救急
- 12 公共交通
- 13 道路
- 14 情報通信
- 15 労働力の確保

第5章

共に考え、
共に創るまちをめざして

- 1 交流
- 2 コミュニティ
- 3 男女共同参画
- 4 移住、定住
- 5 瓜幕地域の振興
- 6 自衛隊
- 7 行政運営
- 8 財政運営

重点プロジェクト

重点プロジェクトとは、めざす将来像を達成していくために、先導的な役割を果たす施策のことです。

※【 】の内容は、基本計画の掲載場所を示しています。



1 「その先へ」プロジェクト ～これまでの事業を継承しつつ、さらに一步前へ進めます～

本町は、2020（令和2）年に開町100年を迎えましたが、次の100年「その先」を見据えて、鹿追町が鹿追町であり続けるために、以下の施策を実施します。

- 子育て世代の包括的支援 【子育て支援】
- 自然体験留学制度の充実 【学校教育】
- 農業基盤整備事業の推進 【農業（経営・基盤整備）】
- バイオガスパラントの有効活用・推進 【農業（持続可能な農業）】
- 町内企業への支援 【商工業】
- 国立公園エリア施設の活用推進及び誘客施策の展開 【観光】
- 新たな再生可能エネルギーの有効活用 【エネルギー】
- 光回線など高速通信に関する調査検討及び整備促進 【情報通信】
- 行財政改革の推進 【財政運営】



2 「魅力」最大化プロジェクト ～特色ある環境を最大限に活かします～

町民アンケートから、多くの町民が「美しい自然環境（61.8%）」、「安全で美味しい農畜産物（46.8%）」、「幼小中高一貫教育など特色ある教育（48.9%）」について、誇りを感じていることがわかりました。これらを守り・最大化するために、以下の施策を実施します。

<美しい自然環境>

- ジオパークの地域住民への浸透 【ジオパーク】
- 花による美しいまちと豊かな景観づくり 【花、公園】

<安全で美味しい農畜産物>

- 消費者などのニーズにかなった体制の確立 【農業（安心・安全な農業）】
- 安心・安全な農畜産物の需要拡大 【農業（安心・安全な農業）】

<特色のある教育関係>

- 国際理解を学ぶ英語教育の充実 【学校教育】
- 幼小中高一貫教育による深い学びの実践 【学校教育】



3 「つながり」プロジェクト ～あらゆる主体が協働で地域を育みます～

まちづくりワークショップの参加者から、町の将来像やテーマ・めざすまちの方向などに取り入れるべき「キーワード」を募集したところ、最も多かったのが「つながり」でした。あらゆるものが「つながる」ことにより、更なる本町の発展をめざすという趣旨を踏まえて、以下の施策を実施します。

- 地域包括ケアシステムを推進する体制の充実 【高齢者福祉】
- 道の駅しかおい・うりまく、観光協会特産品部会との連携 【商工業】
- 防災意識の普及と防災体制の充実強化 【防災】
- 国際姉妹都市との交流促進 【交流】
- 国内友好都市等との交流促進 【交流】
- 町民の町政参加機会の拡充 【コミュニティ】
- 広報広聴活動の拡充 【コミュニティ】
- 住民自治組織の育成 【コミュニティ】
- 他市町村との情報共有など広域行政の連携強化 【行政運営】